

第8巻 PDF 読本



元信越本線（高崎～新潟）

2024年4月5日 歩く鉄道作家 樫原 勉

<目次>

はじめに

第1章 元信越本線（高崎～長野：営業キロ 120.1 km）・・・4

軽井沢～篠ノ井（営業キロ 65.1 km）：しなの鉄道

第2章 元信越本線（長野～直江津：営業キロ 75.0 km）・・・30

長野～妙高高原（営業キロ 37.3 km）；しなの鉄道

妙高高原～直江津（営業キロ 37.7km）：

えちごトキめき鉄道

第3章 信越本線（直江津～長岡：営業キロ 73.0 km）・・・51

第4章 信越本線（長岡～新潟：営業キロ 63.3 km）・・・71

はじめに

本書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第三弾目として、羽越本線や元北陸本線などに接続する、群馬県・長野県・新潟県を走る、本州中部にある元信越本線の旅（営業キロ 331.4 km）について執筆させて頂きました。この路線は、北陸新幹線の登場により、鉄道の名称変更区間（軽井沢～篠ノ井、長野～直江津）や廃線区間（横川～軽井沢）もあります。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 17 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

第 1 章 元信越本線(高崎～横川～軽井沢～長野)

第 320 回～第 322 回のウォーキングは、次の日程で挑戦する。会社の移転等の理由から急遽しなの鉄道の踏破に思いつく。平成 24 年 4 月 27 日（金）、7 km のジョギング後、昨年の 10 月の 3 連休と同じように、21 時頃長野と上田の東横インに電話を入れる。長野東横インは生憎満室だった。しかし、運良く上田東横インは禁煙部屋（4 月 28 日）がキャンセルになったとの情報と翌日は喫煙部屋であれば空室との情報をもらい、予約（担当木村さん）する。宿が決まりコースを下記のようなコースに決める。なお、軽井沢＝横川間は、4 月 29 日の夜思いつく。



第 1 節 旅プラン

①平成 24 年 4 月 28 日（土） 快晴

軽井沢＝滋野（しげの）間踏破（27.9km）。東横イン上田泊

②4 月 29 日（日）

長野＝上田間踏破（34.4km）。東横イン上田泊。

③4 月 30 日（月）

上田＝滋野間踏破（12.1km）。軽井沢＝横川（16km）踏破。

第 2 節 1 日目：2000 年 4 月 28 日（土）：軽井沢～滋野 快晴

朝 5 時半頃起床。自宅を 6 時 10 分頃出る。天気予報によると本日は快晴とのことであるが、自宅に出る頃は曇り空であった。南林間 6 時 34 分発の電車で新宿に向う。町田止まりであったので、相模大野で 6 時 48 分発の新宿行きに乗り換える。新宿から大宮まで移動し、大宮から長野新幹線で軽井沢に向う。新幹線にはスイカ（創刊号のお礼頂いた）

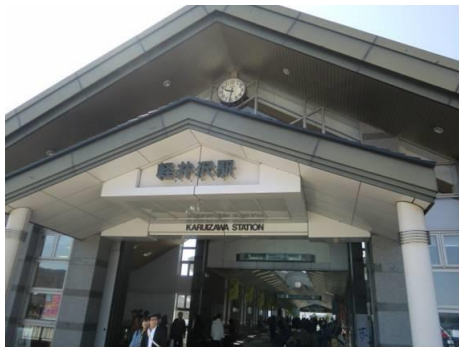
が使用できないとのことで、新宿＝軽井沢間の乗車券（2,520 円）と大宮＝軽井沢間の特急券（2,520 円）を現金にて購入する。運良く、籠原行きの湘南ライナーに乗車（新宿 7 時 37 分発）できたため、新宿から赤羽までは最速で移動（途中池袋のみ停車）することができた。それ故、大宮発 8 時 18 分のあさま 507 号に乗車できる。軽井沢には 9 時 13 分に到着。1 号目の自由席は満席であったので、立ち席で軽井沢まで移動することとなった。55 分の旅であったので、特に苦痛は感じなかった。長野新幹線は初乗りであり、数年前に踏破した在来線と少し経路が異なることもあり、窓からの風景は新鮮味があった。新幹線に記載された「つなげよう日本」が印象に残った。軽井沢に到着する頃には、天気予報通り、快晴になっていた。軽井沢ということで、セーターやベストを用意してきたが、3 日間とも好天等に恵まれ無用の長物となった。



軽井沢駅には 9 時 13 分到着。軽井沢は 20 年振り位となるだろうか。よき時代には懇親ゴルフ大会（セブンツウ）で数回来たことがある。また、大学時代や入社当時、旅行目的でも来たことがある。しかし、いずれも在来線があった時代である。軽井沢駅前の懐かしい風景に堪能する。南口に出て、新幹線の線路に向かって進もうとする。商店街が線路に沿って続いていた。雪がまだある浅間山が見えて来る。何人かの通行人（含む道路工事の労働者）に聞いたが、有名な浅間山を知らない人が多いのには驚いた。



何となく、在来線と新幹線が離れていく感じであったので、道路工事をしている人に中軽井沢への道筋をお尋ねする。「遠回りなので北口方面から歩いた方がいいですよ」とのアドバイスをもらい、引き返す。10分位ロスする。



北口の風景をデジカメに納め、中軽井沢駅に向かって進む。国道 18 号線を主として歩く。9 時 46 分、上田 39km、小諸 19km の看板を見つける。名前も分らない山（浅間山）が前方右手にあった。庭先の地元の人に聞いたところ、「はなれ山」と教えて頂く。私の聞き方が悪かったのだろう。その山は浅間の手前の山にあった。9 時 58 分、軽井沢警察署前を通過。9 時 50 分、軽井沢町野沢原を通過。10 時 3 分、軽井沢高校前を通過。その近くで風景画を描いている年輩女性の姿があった。その人にお尋ねして、私が知りたい山の名前がわかる。浅間山と判明。この山は学生時代（朝日氏、池本氏）、信州を旅行した際、立ち寄ったような遠い昔の懐かしい記憶が蘇る。本日は、浅間山を背景に歩くこととなる。10 時 34 分、軽井沢宿前を通過。



浅間山



中軽井沢駅

10 時 38 分、工事中の中軽井沢駅に到着する。ポカポカ陽気となり、上着を脱ぎ、腰に巻きつける。中軽井沢駅前には、20 台位のタクシー（軽井沢ますや交通）が止まっていた。10 時 41 分、学生時代訪れた鬼押出しの案内板を見つける。遠くからデジカメに収める。八十二銀行の看板も見つける。10 時 46 分、ここでも浅間山をデジカメに収める。11 時 26 分、遠近宮前を通過。11 時半、今歩いている道路から左折する。確認のため、近隣の人にお尋ねする。運良く、左折した先を真っ直ぐ歩いた先に信濃追分（おいわけ）駅があるとのことであった。曲がる交差点に神経を費やしていたのでホットする。



浅間山



信濃追分駅

11 時 42 分、信濃追分駅に到着。駅前は閑散としていた。しかし、ここから見える浅間山は魅力的であった。11 時 53 分、鉄道を横切る倉賀橋を渡る。左に新幹線があった。12 時 12 分、御代田町（みよた）に入る。今歩いている道路は、県道 137 号（借宿小諸線）で、草越という地名であった。ここ近郊は、新幹線と在来線がくねくねとして続いており、迷いそうな地形であった。地図を確認しながら慎重に進む。12 時 31 分、右手沿いに在来線、左手前方 300m~400m 先に佐久平方面に向かう新幹線線路の場面を通過。ここで一句思いつく。「浅間山 白頭巾で 笑顔かな」



御代田駅

13 時 12 分、御代田駅近くの「まほろば」という洒落た店でポテトグラタンつきカレー（880 円）セットを頂く。野菜サラダやアイスコーヒーもセットされていた。ここで 20 分位休息する。13 時 47 分、御代田駅に到着する。ここからの浅間山の顔も素晴らしかった。駅前には地元老人クラブの「つもりちがい十ヶ条」があった。デジカメに収める。

- ① 高いつもりで低いのが教養
- ② 低いつもりで高いのが気位
- ③ 深いつもりで浅いのが教養
- ④ 浅いつもりで深いのが欲望
- ⑤ 厚いつもりで薄いのが人情
- ⑥ 薄いつもりで厚いのが面の皮
- ⑦ 強いつもりで弱いのが根性
- ⑧ 弱いつもりで強いのが自我
- ⑨ 多いつもりで少ないのが分別
- ⑩ 少いつもりで多いのが無駄



この標語は、私の人生の道標になりそうであり、肝に銘じてこれからの人生を歩みたい。いい人生勉強をさせてもらった。

14 時 10 分、今進んでいる道が T 字にぶつかり、左右どちらに進むか迷う。因みに左は佐久平方面であった。通行人に聞こうとするが、誰にも会えず。それで、自動車関連のスタンドにお邪魔し、お尋ねする。「在来線を横切り、右手に暫く進んだ先に 18 号線があります。それを左折し、真っ直ぐ進むと小諸に行けます」と。しかし、在来線を横切らず、手前の農道（14 時 22 分前後）を鉄道に沿って歩く。14 時 28 分、蛙や瓢箪風の作品がある。



御代田駅からの浅間山

14時44分、上信越自動車道下（佐久13）を通過。14時53分、草歩道を進む。14時55分、多くの鯉のぼりがみなみ保育園で泳いでいた。しなの鉄道に沿った高台（平原：ひらはら）を歩く。平原駅を点検しながら進むが、残念ながら唯一平原駅をクリアできず。15時40分、信濃本線を道路上から横切る。左前方には小淵沢駅からの小梅線があった。ここで平原駅を通り過ぎていたのに気づく。15時48分、小梅線の乙女駅を通過。途中、小梅線の東小諸駅もあった。軽井沢近郊の桜は満開の少し手前であったが、小諸近郊では満開の状態であった。16時2分、平和公園前を通過。16時8分、国道141号線の小諸市御幸町で、長野55km、上田20kmの道路標識前を通過。16時32分、小諸駅に到着。



平和公園



小諸駅

駅前の自動販売機でアイス {120円} を購入し、咽を癒す。16時51分、トンネルを通り、在来線の左手に出る。芦原保育園があり、ここでも複数の鯉のぼりが元気に泳いでいた。16時56分、芦原中学校前を通過。17時3分、愛染川踏切を横切る。17時26分、18号線で小諸市丙を通過。18時8分、滋野（しげの）駅に到着。ここで本日アップ。18時10分の電車で上田駅に向かう。滋野から上田までの運賃は280円だった。私がホームに到着するや否やワンマンカーのドアが一度閉まったが、私の姿を見て開けて頂く。感謝で一

杯となる。



小諸駅前



滋野駅

上田駅は新幹線の停車駅でもあり、軽井沢＝篠ノ井間で最も賑やかな駅前だった。ホームページで確認したところ、人口が約 16 万人で、長野県では長野市、松本市に次いで 3 番目の市であった。駅前には、池波正太郎氏の真田太平記館を P R する垂れ幕があった。また水車や真田幸村像も印象的に残った。駅から数分歩いた先に東横イン上田（18 時 45 分）があった。部屋は 604 号室だった。少し休憩し、駅前の武士（もののぶ）でビールと野菜炒め定食を注文する。本日の営業キロは、27.9km、万歩計は 48,385 歩だった。



上田駅



第3節 2日目：4月29日（日）：長野～上田 晴れ

4月29日（日）、深夜1時半頃目が覚め、ロビーで ipod を充電する。30分位、充電時間を利用し、軽井沢＝横川間の距離や歩く道等を検索する。国道18号線を真っ直ぐ進めば横川に辿りつくこと確認する。昨日の新幹線の中で、軽井沢に向うという女性の方に横川から軽井沢までタクシーで5,000円位との情報を思い出す。16km～20km だろうと類推する。碓氷峠からめがね橋までが12km であるとの情報を得るが、軽井沢＝横川間の距離は判明できず。深夜になっても、チェックインの顧客の姿も数人あった。少し驚いた。2時

頃、部屋に戻り、再度休息する。5時半頃、起床し、本日の作戦を練る。7時48分の電車に向かい、長野駅から篠ノ井駅、上田駅と向うコースを。時刻表から駅名と営業キロを転記する。7時にロビーで朝食を済ませ、7時半過ぎホテルを出る。本日は禁煙ルームから喫煙ルームに変更になるため、荷物をロビーに預けてからの出発となる。うっかりして、部屋の鍵を閉めこむ。



上田東横イン



昨夜の夕食

7時37分頃、上田駅に到着。長野までの運賃は750円要する。上田駅には、大学生風の中国人の女性のグループがあった。ボックス席で左窓側と正面にグループの2名が座り、中国語で世間話等をしていた。篠ノ井まで楽しい会話を聞きながら電車の時間を過ごすことができる。窓から見る限り、長野まで特に大きな障害は見かけなかった。ただ、川中島と安茂里（あもり）間で犀川（さい）が横たわり、大きく迂回を余儀なくなる様相だった。長野駅には8時30分到着。善光寺に向うか否か迷うが、時間の関係から今回はパスする。長野には、近い将来、長野＝直江津の踏破の際、来るからである。また、善光寺には、数回来たことがあることもあろう。さらに、本日の日程から判断し、善光寺に参拝する時間の余裕がないと判断したからである。



しなの鉄道車両



長野駅



長野駅前

駅前で色々なアングルから長野駅の顔を記念写真撮った関係で、長野駅出発は 8 時 43 分となる。いきなり作戦を誤る。裾花川（すそばな）を渡ったからである。8 時 56 分、直進すべきところ、国道 117 号線（JR 線横断：県庁通り）を左折して進む。川があることには気づかず。30 分位ロストする。



裾花川

線路は山間と裾花橋の間を走っていた。500m 位裾花川の土手を歩く。9 時 15 分、裾花川水管橋（長安橋）を渡る。橋の先には、長野自動車学校の看板と「イサム」という看板があった。9 時 23 分、裾花中学校前を通過。少し無駄な歩きをしながら、9 時 44 分、南大門踏切を横切り、鉄道の右側に出る。その先の道は、安茂里駅に続いていた。先程左折せず、直進していれば、この道を歩いていただろう。後の祭であった。9 時 56 分。安茂里駅に到着。



安茂里駅



近くに小高い山があった。蔦屋書店が目にとまる。10時3分、川中島への路の道路標識と名古屋まで264kmの道路標識を見かける。県道405号線（川中島線）を進む。この道路は、犀川（さい）を渡るのまで長い助走区間が続いていた。犀川の河川敷には桃の木々が鮮やかな花を咲かせていた。10時26分、やっと万歩計で416歩ある小市自歩道橋を渡る。10時54分、踏切を横切り、鉄道の左側に出る。10時58分、川中島駅（新幹線線路下）に到着する。カタツムリ、スイセン、朝顔、りんご等を描いた垣根が鉄道沿ってあった。100m位続いていたであろう。左上には新幹線の線路があった。右手には在来線が続いていた。11時33分、川中島駅と同様新幹線下の今井駅に到着。直ぐ近くに長野医療技術専門学校があった。



犀川 川中島駅



12時5分、篠ノ井駅に到着。駅前の江戸屋で昼食を摂る。この店は、多岐に渡るメニューがあった。盛り合わせ天井（950円）を注文する。私が本日最初の客のようであった。私が出る頃には、常連客を含め数人の客がやってくる。ここで20分程度休憩して、屋代高校前駅を目指す。



篠ノ井駅



12時50分、万歩計で35歩の岡田川（北野天神：平成12月1月竣工）を渡る。12時58分、第3北国街道踏切を横切る。13時11分、千曲川土手に到着。左右どちらの橋を渡るか迷うが、何となく左の方が近いと判断し、左の橋を渡ることにする。新幹線下を通り、13時15分、千曲川堤防北踏切を横切る。その先に千曲川に跨る篠ノ井橋（774歩）を渡る。13時41分、上田23km、小諸42km、高崎106kmの道路標識前を通過。



千曲川（篠ノ井橋）



屋代高校前

14時4分、屋代高校前駅が近くに見えるが、企業等があつて容易に行けず、10分位右往左往する。やっとピンク色の陸橋を越えた先にある屋代高校前の看板を見つける。最初ここでこの駅の記念にしようとしたが、可笑しいと考え、陸橋の登ることにする。運良く、橋の向うに屋代高校前駅の駅舎が見えて来る。モダンで茶色系の駅舎をもつ屋代高校前駅には14時8分到着。



伏見稲荷大神



屋代駅

風がないのか鯉のぼりは静止状態であった。14 時 17 分、松代踏切を横切り、鉄道の右側に出る。14 時 21 分、赤い鳥居が複数続く伏見稲荷大神前を通過。14 時 44 分、屋代駅に到着。駅前には年長の幼稚園児や小学生の鯉のぼりの作品が展示されていた。14 時 55 分、私の「こだわり鉄道つたい歩き」の続刊号の校正で大変お世話になった、森氏の感想文タイトルと同じフレーズ（せまい日本そんなに急いでどこに行くの）があった。15 時 33 分、黄色のイメージの駅舎である千曲駅に到着。駅前にゆったりした空間の広場があった。16 時 2 分、藁で作成のユニークな人形（荒神等の記載もあり）に出逢う。



千曲駅

16 時 11 分、戸倉・上山田温泉の看板がある戸倉（とぐら）駅に到着。駅前の自動販売機でアイス購入。16 時 18 分、蕎麦を営む萱葺き家前を通過。16 時 26 分、千曲市戸倉で高崎 98km、小諸 34km、上田 15km の道路標識前を通過。右手山の高台には戸倉上山田温泉があった。



戸倉駅



16時55分、標高387mある坂城町に入る。ピラかわせ（ファッションホテル）の看板を目にする。左手にはしなの鉄道があった。この近郊からトンネルがあり鉄道は姿を消した。この近郊は富士川が流れる身延線と似たような風景であった。地名は苧屋原とあった。この近郊は、坂城（さかき）ばら街道とあり、200～300m位バラ並木が続いていた。まだ、バラは咲いていなかったが。黒い瓦ぶきの駅舎をもつ坂城駅には17時32分到着。



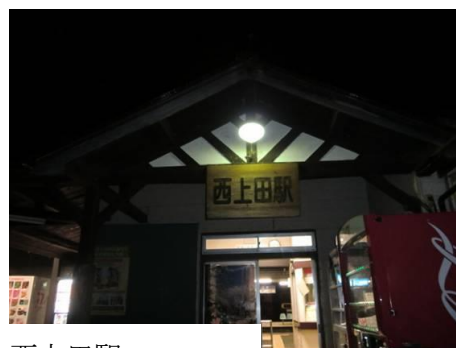
坂城駅



線路に沿った路を歩き、国道18号線には17時47分合流する。18時1分、坂城町中之条で上田9kmの看板を目にする。その先にテクノさかき駅への案内板があったが、分かり難い看板のため、2往復する。まったく無駄な動きをする。15分位ロスする。駐車場にやってきた人に聞いて、テクノさかき駅の位置がわかる。感謝の限りである。この駅は道路下であり、暗くなりかけた時間帯では発見するのは大変であろう。道路下の階段を下り、わかりにくいテクノさかき駅には18時30分到着。暗くなった路を、真っ直ぐ進む。18時55分、18号線に合流し、ほっとする。途中、農作業をしていた人に挨拶される。そういえば、香川の実家では田植えシーズンであるが、この地方では田植えの準備している場面には対面できなかった。昨年の山口でも田植えの光景を見かけたが。



テクノさかき駅



西上田駅

19 時 9 分標高 415m の上田市に入る。19 時 30 分、西上田駅に到着。時間と距離の関係か場所が的中する。上田駅も同様。19 時 46 分、前方が何となく明るく感じる。ラジオで巨人＝阪神戦の録音中継に切り替える。巨人が 2 対 1 で競り勝った試合であった。上田駅には 20 時 55 分に到着。国道 18 号線から結構距離があるのに驚いた。ホテルには 21 時 6 分到着。本日の営業キロは 34.4km だった。万歩計は 55,103 歩だった。テレビではうつ病が放映されていた。全部見ず、途中から食事に出かける。ホテル近くの邦心で生ビール 2 杯と餃子、コーン味噌ラーメンを注文する。とても美味しい味であった。帰りに遊びの名刺を置いてくる。本日も充実した一日であった。



第 4 節 3 日目：4 月 30 日（月）：上田～滋野、軽井沢～横川

晴れ

<上田～滋野>

4 月 30 日（月）5 時半に起床。ipod の充電は昨日済ませていたため、その分朝寝ができた。昨日久しぶりに 30km 以上歩いたので多少足に張りがあったが、特に問題はなし。本日の予定は、11 時半までに上田＝滋野間の 12.1 km を歩き終え、滋野から軽井沢まで電車で移動し、再度、軽井沢＝横川間の 16km を踏破するというプランである。軽井沢＝横川間の営業キロや道筋に未知数部分があり、何としても 11 時 30 分までには滋野に辿りつく必要があった。故にそれなりにプレッシャーを感じるプランでもあった。ロビーには 6 時 40 分頃おり、新聞に目を通す。7 時にロビーで食事を済ませる。7 時 35 分、チェックアウトする。M 社の船田さんに似た清沢さんというホテル職員に食事前に予め了解を得て、チェックアウトの際、私の趣味の名刺とこだわり鉄道つたい歩き（第 2 号）とウェブサイト“カッシー館”のイントロ部分（事前に用意）を手渡す。PR のためである。



上田駅前



7時40分、色んなアングルから上田駅前を写真撮影後、滋野駅を目指す。しなの鉄道の左側に沿って歩く。8時7分、行き止まりとなり、階段を上る。その先に信濃銘菓うさぎやがあり、国道18号線が続いていた。ここから18号線を歩くこととする。8時17分、香川出身の釜揚げうどん丸亀製麺がある。8時29分、信濃国分寺資料館前を通過。



信濃国分寺資料館

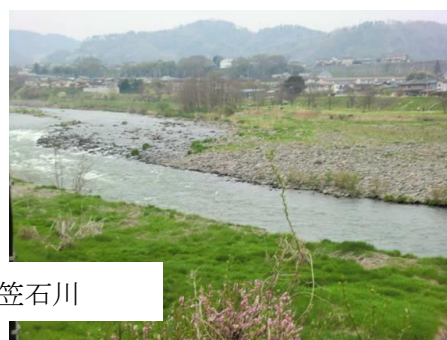


信濃国分寺駅

8時36分、信濃国分寺駅に到達。山小屋風の駅舎であった。8時43分、東京190km、高崎79km、小諸15kmの道路標識前を通過。8時45分、231歩ある神川橋を渡る。9時11分、運良く大屋交差点を曲がる。国道152号線を歩く。道路下にしなの鉄道があり、200m先に大矢駅があった。9時16分、大屋駅に到着。



大屋駅



笠石川

9時25分、笠石川（御堂沢橋：みどおさわ）を渡る。鉄道に沿って千曲川が流れていた。9時25分、道租神前を通過。9時26分、大屋駅から田中駅にかけてある海野宿案内板があった。9時32分、茶色の歩道を歩く。この歩いている道は「中部北陸自然歩道」となった。9時43分、北国街道海野宿前に到着。海野宿には〇〇屋の店が続くのに驚いた。叶屋、丸屋、吉野屋、つるや、藤乃屋、大和屋、こまちや、鍵屋、玉屋、もとや、福島屋、上州屋のように。



海野宿



9時52分、海野宿を背景に記念写真を撮ってもらおう。10時、海野宿資料館に入り、私の趣味の名刺を渡すと同時に記録帳に私のこれまでの歩きをメモする。5分位費やす。海野宿歴史民俗資料館の入館券（No254471）を購入（200円）するが、時間の関係で立ち寄り。海野宿は資料によると、旅籠屋と養蚕農家の形式を残したとあった。10時9分、香川県と同一名称の白鳥神社前を通過。10時12分、第2北国街道踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。駅舎名が分りにくいところにある田中駅には、10時35分に到着。11時25分、さとちやんトラベル前を通過。11時27分、滋野駅に到着。



田中駅



滋野駅

軽井沢までの運賃は600円だった。予定通り、11時30分の電車に間に合う。田中駅を

出る頃には、11時30分の電車には間に合わないと考えていたが、諦めず頑張ってよかった。滋野駅の通路に掲載したポスターをデジカメに収める。11時36分、小諸駅で始発の軽井沢行きに乗り換える。



小諸駅



平原駅

4月28日、しなの鉄道で唯一未踏破になった、平原（ひらはら）駅を11時50分電車の中からデジカメに収める。軽井沢駅には12時5分到着。軽井沢駅で、軽井沢＝横川間の営業キロをお尋ねする。16km～18km位と回答がある。駅前の軽井沢観光協会で軽井沢＝横川間の概略の地図をもらう。「国道ですから歩けますが、気をつけて歩いて下さいよ」との回答を頂く。しなの鉄道の改札口に戻り、家内に「くるみろまん」を土産に購入する。しなの鉄道の駅員にも私の趣味の名刺を渡しPRする。



横川駅を目指す





碓氷峠

<軽井沢～横川>

12時21分より、国道18号線を歩き横川駅を目指す。12時32分、碓氷峠を通過。12時37分、軽井沢町矢ヶ崎を通過。12時38分、長野県軽井沢町から群馬県安中市に入る。12時49分、カーブ172前を通過。12時41分、カーブ162前（めがね橋8.4km、碓氷峠1.2km）を通過。13時3分、標高900m地点に到達。その先に熊出没注意の張り紙と対面。



横川への路

13時23分、軽井沢に向う歩き人と出会う。それから暫くして、伊勢崎市民病院勤務の鈴木氏と出会う。13時43分、彼と記念写真を撮る。彼はウォークとランを併用しながら山から山を歩いているとのこと。昨日から歩いているとのこと。彼から「GARMIN」という時計のような機具を教えて頂く。この時計は4万円弱で、歩いた道筋が記録されるとのこと。彼と趣味について、15分程度歩きながら歩く。峠下にある力餅は美味しいとの情報も得る。15分位歩いて、彼と別れる。当然私の歩きの情報も流す。別れる際、趣味の名刺を渡す。後でメールのやりとりをするために。

14時、軽井沢方面に向かう2人連れの通行人に出会う。自転車による軽井沢＝横川間の往来は数十名と対面するが、歩きによる対面は鈴木氏を含め、4名であった。13時56分、

カーブ 116 (めがね橋 4.5 k m、碓氷峠 5.1 k m) 地点を通過。14 時 8 分、カーブ 100 を通過。14 時 15 分、熊ノ平バス停前 (J Rバス関東) を通過。バス停車駅は下記の通り。

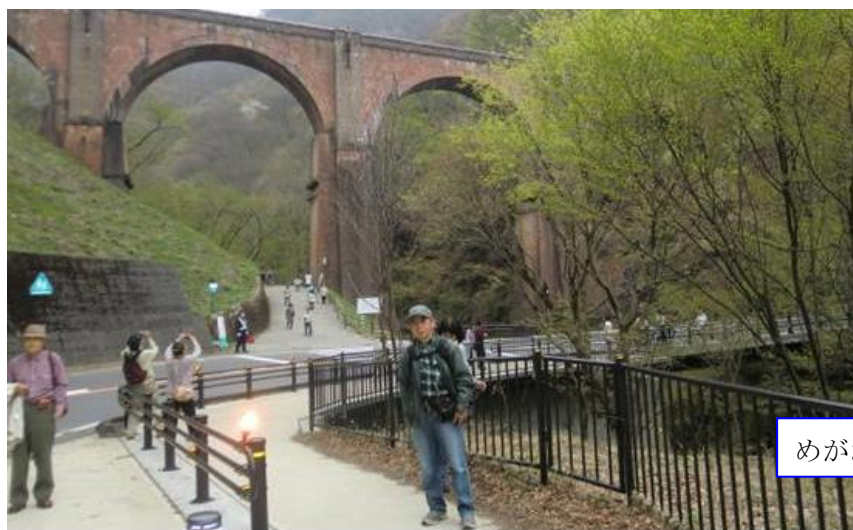
軽井沢駅→熊ノ平→めがね橋→くつろぎの郷→坂本宿→横川駅



熊ノ平駅跡前



14 時 31 分、熊ノ平駅跡前で記念写真を撮ってもらう。国道 18 号線から 30m位上がったところに、駅があった。案内板には「アプトの道」入口“熊ノ平駅”とあった。ここからめがね橋まで 1.3 k mとあった。16 時 12 分、めがね橋バス停に到着。沢山の観光客がいた。15 時 14 分、めがね橋を背景に記念写真を撮ってもらう。



めがね橋

15 時 15 分、碓氷川看板前を通過。15 時 31 分、廃線となったトンネルをデジカメに収める。15 時 23 分、安中市松井田町坂本を通過。15 時 32 分、碓氷湖、坂本ダム前を通過。15 時 40 分、カーブ 12 を通過。15 時 43 分、中山道の道標をデジカメに収める。15 時 48 分、鈴木氏から教えて頂いた玉屋 (お食事処喫茶) に到着。早速名物の力餅 (ラーメンセット) を注文する。赤福のような味でとても美味しかった。この店は鉄道マニアと推察し

たので、帰り際趣味の名刺を手渡す。この店で 20 分位休憩する。この店で、横川駅まで 4 k m の情報を得る。

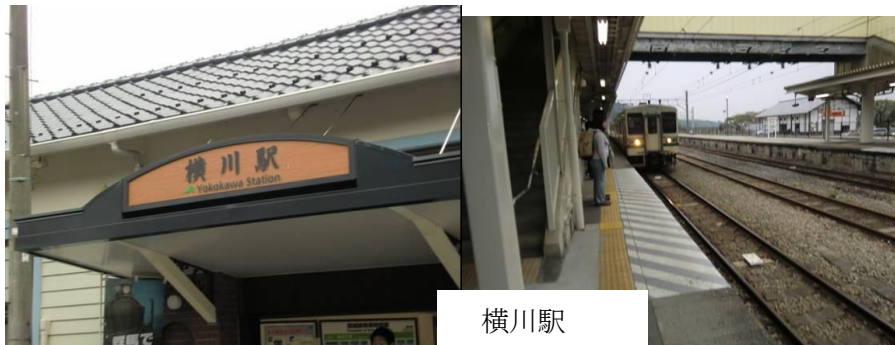


16 時 16 分、中山道坂本宿前を通過。16 時 30 分、松井田町原に到達。17 時 2 分、種々の電車が陳列してある碓氷峠鉄道文化むらに到着。その先に横川駅（17 時 5 分）があった。この近郊の特徴ある山は微妙ではあるが記憶に残っていた。横川 17 時 12 分（高崎 17 時 59 分、新宿 20 時 10 分）の電車で自宅に向う。自宅には 21 時 30 分到着。本日の営業キロは 28.1 k m（12.1 k m+16 k m）とする。万歩計は 56,095 歩だった。



碓氷峠鉄道文化むら

充実した 3 日間であった。これで高崎から長野までの信越本線の踏破の目処がたったのと同時に、松本＝長野間の見通しもたった。長野県の魅力を教えてもらう旅行にもなった。篠ノ井、上田、小諸の地理的位置を理解したのが大きい。それから鈴木氏との出会いは今後の人生で励ましになるような気がする。



横川駅

第5節 日帰り：7月28日（土）：高崎～横川 晴れ

信越本線の横川からの続きは、約3ヶ月経過の平成24年7月28日（土）に実施。本年初の炎天下でのウォーキングとなった。本日のウォーキングは昨日急遽思いつく。出版や学校関連の行事等があり、最近中々歩く時間がとれない。その中でのやり繰り算段となる。4時前に目が覚める。今年ウォーキングした旅行記をプリントする。電車の中で校正するためである。家を5時10分過ぎに出る。5時半の電車に間に合わせるため、ジョギングで臨む。5時25分に南林間駅に到着。以下、次のダイヤで横川まで向う。JRの運賃に2,210円要す。（帰りは1,860円）



高崎駅から横川駅へ

新宿（6時28分）→ 赤羽（6時50分）→ 高崎（8時39分）→ 横川（9時12分）

南林間から赤羽まではうとうとし、赤羽から30分～40分程度旅行記の校正に充てる。そしてうとうとする。高崎～横川までは本日の歩きコースのため、真剣な眼差しで鉄道沿線を観察する。北高崎駅近郊の川（烏川）と松井田駅近郊で歩きに骨が折れそうな予感がする。概ね鉄道に沿って、国道18号線が続いているようなコースであった。高崎～横川までの在来線は概ね平野部分、一方この部分の新幹線は山間部分を走っていた。



横川駅へ

9時15分、峠の釜飯がある横川駅前数枚写真を撮り、西松井田駅に向けて出発する。日傘の代わりに、タオルを帽子の下にセットする。鉄道の左側を第十五中仙道踏切（9時35分）まで歩く。この踏切を横切り、国道18号線に合流する。9時44分、小山沢交差点を通過。まもなく歩くと、松井田町五料という地名であった。9時50分、東京132km、高崎25km、安中14kmとある道路標識地点に到達。9時55分、旧中仙道の案内板あり。その先に坂本宿4.2km、松井田宿4.1kmの看板があった。9時58分、下り快速電車（肌色4両編成）が通過して行く。10時24分、五料跨線橋を横切り、鉄道の左側となる。10時32分、碓氷山金剛寺（関東八十八札所東国花の寺）で国道18号線から分岐する道路に入る。10時53分、本日最初の西松井田駅に到着する。



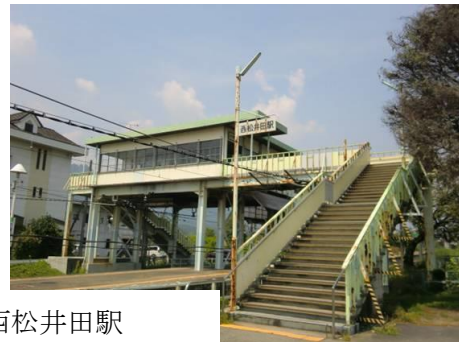
横川からの懐かしき山



横川近郊の線路



碓氷山金剛寺



西松井田駅

家内から香川実家のエアコン工事の件で電話あり。稲は田植えから 2 ヶ月～3 ヶ月経過しているため、青々としていた。水田には水を入れていた。11 時 10 分、山と雲のコントラストの風景に堪能する。その近くに松井田郵便局があった。市街地に入ったため、松井田駅への路が遠回りとなる。松井田駅は高台にあった。七夕飾りをした町内を通り、川を横切り、急な勾配の路を歩く。川から 100m 位上がったところに鉄道の電柱が続いていた。松井田駅には 11 時 32 分到着。



松井田駅



松井田駅からの眺め

松井田駅から先程歩いた道筋が見えて来る。11 時 54 分、元気な向日葵を見て夏本番を肌で感じる。残念ながら、夏の風物詩の蝉の合唱はなかった。12 時 25 分。台湾料理「興福順」で野菜いため定食（880 円）を頂く。から揚げががついていたので、「これは食べられません」と応える。「春巻きは OK ですか」といい、変更して頂く。この店で 30 分位休息。熱くなった体を冷してくれた。



座間市シンボルの向日葵



台湾料理「興福順」

この店から 30 分位歩いた先に磯部駅があった。駅前には磯部温泉（愛妻湯の町）の看板があった。また、温泉宿の看板があった。この温泉地区では“雀の宿”が有名とのことであった。13 時 50 分、「碓氷峠鉄道施設（めがね橋、丸山変電所等）世界遺産登録へ」の旗が鉄道遺産群を愛する会よりあった。



磯部駅



14 時 10 分、新井踏切を横切り、鉄道の右側へ。14 時 38 分、第二一本木踏切を横切り鉄道の左側へ。14 時 54 分、鷲宮咲前（さきさき）神社看板前を通過。15 時 21 分、安中駅に到着。安中駅前の自動販売機でアイス（120 円）を購入。火照った体を多少冷してくれた。



安中駅

15 時 32 分、東京 115km、熊谷 48km、高崎 8km の道路標識前を通過。15 時 35 分、柳瀬

川橋（81歩）を渡る。15時50分、鉄道を横切る。16時3分、碓東（たいとう）大橋を渡る。16時20分、西馬場踏切を横切り、鉄道の左側となる。16時36分、駅舎が太鼓屋根の群馬八幡駅に到着。



群馬八幡駅

丁度路線バスがやってくる。駅前で第38回高崎まつり（8月4日～5日）を見ていると、70過ぎの年輩から声をかけられる。「どこから来たのか。本日は泊まるのか」といった質問があり。適切に回答する。16時51分、上豊岡踏切を横切り、鉄道の右側に出る。17時25分、JR線渡る陸橋で右往左往する。また、袋小路が多い市街地内を歩く。新君ヶ代橋（1,300歩）まで烏川に沿って歩く。往復3km位迂回を余儀なくされる。



上豊岡踏切



烏川



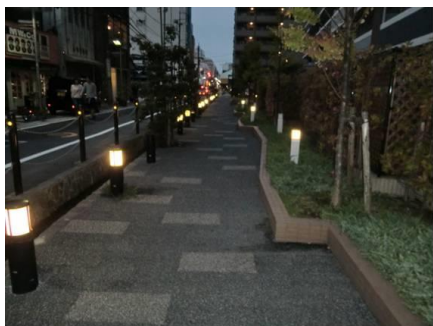
経大前通り



北高崎駅

18時12分、西小学校踏切を横切り、鉄道の左側となる。経大通りとあった。500m位歩き、渋川街道に出て、三国街道踏切を横切った先に北高崎駅（18時23分）があった。こ

の駅の自動販売機でアイス（120 円）購入。日蓮宗のある寺の前で 7 月の教えの言葉があった。「鬼の形相で叱るより仏の和顔で抱きしめて」。18 時 53 分、歩いた町内（東陽山本元寺）では今晚祭りで叩く太鼓の練習をしていた。



高崎駅

19 時 5 分、高崎駅に到着。これで、長野＝高崎＝東京が繋がる。19 時 35 分の上野行の電車で自宅に。自宅には 23 時 5 分到着。本日の営業キロは 29.7km、万歩計は 61,499 歩だった。本日は炎天下のため、ペットボトルを 6 本位たいらげる。充実した一日であった。

